



Weekly Report

次の世代に形を残そう

佐世保北ロータリークラブ 2015～2016年度 R I 会長 / K.R. ラビンドラン ガバナー / 宮崎清彰

会長/中野雄一郎 幹事/森 豊 例会場/佐世保市島瀬町7番7号 西沢本店8Fカトリアホール(毎週月曜日)
創立/1984. 4. 16 認証/1984. 5. 14 事務局/佐世保市上京町6番21号 上京ビル4階 TEL 0956-22-7144 FAX 0956-22-1201
E-mail office@sasebonorth.org Web http://www.sasebonorth.org

【本 日】会員数44名 出席 27名 欠 席 3名 出席規定免除会員(14) 出席 9名 ビジター 0名 出 席 率 92.31%
【前々回】会員数44名 出席 28名 メークアップ 2名 出席規定免除会員(14) 出席 7名 修正出席率 100.00%

《地区研修・協議会 報告》

宮崎有恒 次年度 幹事

「会長・幹事 部会」

藤井良介 会長エレクト

○テーマ『ロータリーライフを楽しもう！ 会長幹事の役割とは』

- ・カウンセラー宮崎清彰ガバナー：20歳代で諫早ロータリークラブに入会して現在迄のロータリー活動を通して非常に有益であった旨、先輩から教わった事などを具体的に話されました。
- ・リーダー・竹田健介(平戸RC)
- ・会の運営については「寛容の精神」で会を運営するといいいのではないかと話がありました。
(会員それぞれ個性的な会員もいらっしゃるので)
- ・クラブでの意思決定機関は総会であるけど、理事会での話し合いが大切で必ず60日以内に会員全員へ審議内容、報告事項を知らせる必要がある旨(理事会を重要視)
- ・クラブ、地区、R I との関係は決して上下関係ではなくて、各クラブの独自性、自主性を尊重して運営されるようにとのこと。
- ・ロータリークラブは単なる慈善団体ではなく、職業奉仕あつての又それを基本としたクラブである旨説明されました。
- ・会員増強と退会防止については、3年未満の退会者が統計的に多いため新入会員に対しては紹介会員がきめ細かいお世話と配慮が必要で、過去の現況報告書などを読んでもらうといいいのではないかと
- ・Eクラブについても言及、2740地区では、まだ現在もクラブは存在しない。
- ・ロータリー財団100年目になることで、財団への協力をお願い。ポリオに関して
「ポリオ」は東京の麴町ロータリークラブが提唱したものが国際ロータリーで採択されて、現在に至っているとのこと。また成果を上げている旨。

次年度地区方針

ガバナーエレクト 崎永 剛(長崎北RC)

- RIテーマ『人類に奉仕するロータリー』
地区運営方針『地区に奉仕するロータリー』
財団創立100周年の節目の年であることを十分意識し、「職業サービス」の基本理念、4つのテストの下にロータリアンとして「誇り」を持って地域に貢献しよう。
- 会員増強の目標
会員50名未満のクラブ 純増1名以上、会員50名以上のクラブ 純増2名以上
 - ロータリー財団への年次寄付目標
一人平均150ドル/年間
 - 米山記念奨学会への寄付目標
一人平均16,000円/年間

基調講演「2016年 規定審議会報告」

野口 清 パストガバナー

3年に1度開催される規定審議会は4月10日より15日までシカゴで開催され、2740地区の代表議員として出席された野口清パストガバナーからの報告です。

規定審議会の歴史は、1934年最初の規定審議会が、デトロイトで国際大会と共同で開催され、その後は毎年国際大会と一緒に解されていましたが、1970年より2年後となり、1974年からは3年毎になりました。そして2001年からはR I 本部のあるシカゴで開催されるようになりました。

出席者は、投票権のある世界532地区(日本34地区)よりの代表議員と、圧力団体としてR I の会長はじめ役員多数が出席しております。

今年、採択されたのはRI定款・RI細則・標準ロータリークラブ定款を改正した118件の制定案です、またRI理事会に意見を表明したり、提案を行ったりする組織規程を改正しない立法案として63件が採択されました。

今回、採択された制定案はロータリーの歴史的な変をもたらすでしょうと述べられました。

例会スケジュールや会員身分に関してより多くの裁量

をクラブに委ねる立法案や人頭分担金を増額する立法案が採択されました。この増額による収入は、ロータリーウェブサイトを含むオンラインツールの改良と、クラブにおける会員増強を支えるプログラムや業務提供のために使用されます。

- 理事会のすべての会合の議事録を全会員に60日以内に入手できるようにすべきである
- RIの人頭分担金が2016-17年度半年ごとに28ドル、2017-18年度半年ごとに30ドル、2018-19年度半年ごとに32ドル、2019-20年度半年ごとに34ドル（つまり1年で4ドル値上げ）
- クラブの入会金を廃止する
- 例会取消の規定で例会日が祝日に当たる場合とその週に祝日が含まれる場合
- 直接あるいはオンラインの両方による例会出席を認めるよう、出席規定を改正
- 毎月少なくとも2回例会を開催する
- 出席免除の規定を改正、85年以上に会員歴20年以上のように変わりますが、審議会で採択された変更は7月1日より有効となりますが、クラブの細則で自分たちのクラブにふさわしい対応をしてくださいと述べられました。

「社会奉仕部会」

松永祐司 次年度社会奉仕 副委員長

平成27年4月24日、ANAクラウンプラザホテルにて開催された第2740地区地区研修・協議会の社会奉仕部会に参加しました。

佐賀北RC福元裕二パストガバナーをカウンセラーに大村RC帯屋 徹2016～17年度社会奉仕委員長のもと研修を受けてまいりました。

次年度の委員会活動方針は、下記の5項目があげられました。

- 1、「震災とロータリー」震災支援の継続
継続的な支援が必要だと思いますので、各クラブにあった活動をお願いしたい
- 2、地区補助金を活用した社会奉仕事業の拡大
地区補助金についての勉強会の開催
- 3、クラブや個人で取り組める「額に汗する奉仕」の実施。本年度のテーマに沿った各クラブの事業を考えよう
- 4、各クラブの特徴や地域性を生かしたプログラムの実施
各地域にはそれぞれ伝統・文化・歴史・名所・祭りなどの特徴を生かし、あるいは継続するためクラブとして協力できないか
- 5、2740地区全体で一つのテーマに取り組みませんか
11月は全国「虐待防止推進月間」です。
子供の虐待を防止しようという月間があること、いざという時に連絡する機関があることを知ってほしい、現在の社会では幼い命が大人の虐待により奪われる事件が多発しております。連絡先は全国共通189番（いち早く）です。
ロータリーの仲間を通じて世の中へ周知することで一人の幼い命が助かるかも知れませんので取り組んでいただきたい。

以上が本年の活動方針です、次年度社会奉仕委員会は

佐世保北RCのプログラムに沿った中、そのような奉仕活動を目指したいと思います。

「クラブ奉仕部会」

近藤竜一 クラブ管理運営委員長

本研修会は、「クラブ機能の充実」という趣旨で、高木義和次年度地区クラブ奉仕統括委員長（島原RC）及び石橋完次年度地区会員増強委員長（長崎北RC）2名により講義が行われた。クラブ統括委員会の活動方針の話よりも、高木リーダーと石橋副リーダーのロータリークラブへの思いを中心のお話でありました。

高木リーダーの講義要旨は、

- 1、ロータリークラブの発展充実のために、例会出席の100%達成をお願いしたい。
- 2、情報広報委員会を通しての公共イメージの推進（地域活動の情報発信）
- 3、クラブ基盤の向上の為に、会員増強をお願いしたい。
- 4、地区では、クラブ機能の充実を図る為に、3年、5年と長期の計画でクラブ運営の活性化を考えてもらうことを推奨する。
- 5、クラブ機能の充実を図る為に、地区委員の卓話の活用。

石橋副リーダーの講義要旨は、

- 1、地区の会員増強目標 会員50名未満のクラブは、純増1名以上 会員50名以上のクラブは、純増2名以上ではあるが、実質減を考慮すると、会員数×120%の純増目標を立てて尽力する事。
- 2、会員増強の手法については、例えば、SNSの活用等、各クラブで検討する事。
- 3、ガバナーマンスリーの会員数増減に興味を持つこと。
- 4、ご自身の会員増強の体験談。要約すると「情熱をもって、相手の美しい心に働きかける」

「職業奉仕部会」

松田信哉 次年度職業奉仕委員長

本日は、所用により本例会に出席できませんので、代わりに宮崎次年度幹事に報告をしていただきます。宮崎さん、宜しくお願いします。

昨日行われました、2740地区の地区研修・協議会に参加して参りました。

次年度地区職業奉仕委員長の吉岡義治（よしおかよしはる）リーダーの、「職業奉仕についてもう一度考えてみよう」と題しての講演がありました。

創立当初は、物質的相互扶助の精神により非常に秘密主義、排他的であったロータリーが、ドナルド・カーターやアーサー・シェルドンの影響により社会に奉仕する活動として生まれ変わり、職業を通じて社会へ奉仕することの大切さを、4つのテストで具体化していった流れをわかりやすく解説してくれました。ただその講演の内容は、我が北クラブの会員であり、源流の会のメンバーでもある小西会員及び棧会員から、シェルドンやポールハリスに関して、何度も勉強させられた内容とほぼ同じでありました。

おまけに、地区の職業奉仕委員の中島会員が、会場

からの難しい質問に適格に回答しているのをみて、つくづく、北クラブの会員のレベルの高さを痛感しました。

ただ、2009年に制定された行動規範の一部が、2014年のR I 理事会にて一部削除され、相互扶助の方向に逆行していているということには驚かされました。その辺りは、中島地区委員が分かりやすく説明していただけたと思います。

分科会が終わり全体会議の後、藤井会長エレクトと宮崎次期幹事とで懇親会に参加してから家路につきました。思ったより食事が良く、接待も良かったので期待外れにはならず済みました。会場が狭く、またその準備に時間がかかったりしましたが、今回ホストクラブを務められた長崎北RCの会員の心配りには非常に敬服いたしました。

藤井エレクト、お昼御馳走様でした。宮崎次期幹事、コーヒー御馳走様でした。

また一緒に参加した宮原副会長、近藤会員、松尾会員、松永会員、昨日は大変お疲れ様でした。次年度宜しくお願いします。

「青少年奉仕部会」

松尾重巳 次年度 青少年委員長

地区青少年奉仕部会の来年度のテーマは「一行動へ未来へ」です。

今後のロータリーの発展のためにも 直ちに青少年奉仕のための行動を興し 未来へ繋げる活動を行う必要があります。

ロータリーの5大奉仕の中で青少年奉仕は未来社会のリーダーを育成し将来のロータリアンを育成する場であり、青少年部門4委員会(インターアクト ローターアクト ライラ 国際青少年交換)がそれぞれ活動方針に合わせて1年間の活動を行う予定です。特に昨年度よりインターアクトとローターアクトの連携を始めたので 今年度は、より交流をして青少年の未来の場を見出す事を希望します。

当地区では青少年統括委員会が特別に設置されており、この委員会は青少年部門4委員会が連携して活動ができるようにするパイプ役です。4委員会がそれぞれスムーズな活動ができるように次のとおりの活動を掲げます。

《活動方針》

- (1) 4委員会とロータリー財団委員会、米山記念奨学委員会と連携強化
- (2) 青少年奉仕月間(5月)の推進
- (3) 各委員会でリーダーシップが発揮できる青少年を育成することの推奨
- (4) 青少年プログラム参加者のステップアップと継続的にロータリークラブとの親密な関係を持てるような支援
- (5) 青少年危機管理についての理解を深める

《行事予定》

青少年奉仕セミナー 2016年8月～9月に開催
参加対象者:クラブ青少年奉仕担当理事・委員長

「国際奉仕・ロータリー財団部会」

宮原明夫 次年度ロータリー財団・米山記念奨学委員長

1. 次年度は、ロータリー財団100周年にあたる。
1917年「世界でよいことをするために」基金の設置 (アチC. ケンワRI会長)
2. 地区のR財団委員会は、「補助金委員会」「資金推進委員会」「ポリオプラス委員会」「資金管理委員会」よりなる。
3. 世界ポリオ撲滅 END POLIO NOW
残り2ヶ国、ビル・ゲイツ財団と倍額のマッチング
4. 地区補助金の活用
クラブから寄せられた年次基金(シェア)への寄付はWF(国際財団活動資金)とDDF(地区財団活動資金)へ半々で分けられる。
地区補助金とグローバル補助金(6つの重点分野)の利用報告
グローバル補助金奨学生と地区補助金奨学生
V T T報告:「モンゴル国における唇顎口蓋裂患者の出生から成人までの治療に関する指導」

地区の2016-2017年度の寄付目標

◆寄付ゼロクラブをなくす

- ・ロータリー財団への年次寄付目標:一人平均150ドル/年間
(米山記念奨学会への寄付目標:一人平均16,000/年間)

- ◆「R財団100周年」へ思いを馳せて、挑戦してみる。
例) 年次基金に会員一人平均100ドルを寄付する。
財団への寄付を過去5年間で最高とする。
ベネファクターと遺贈友の会会員の総数を1名以上増やす。

《会長挨拶》

中野 雄一郎 会長

地区協議会に藤井次年度会長を初めとするご参加の皆様お疲れ様でした。

先週の例会は出張の為欠席し、宮原副会長に会長代理をお願いし有難うございました。

4月17日の地震で熊本県・大分県において甚大な被害を受けました。まだ6万人の人が避難生活している状況です。車など狭い場所で長時間過ごすことで、血液が固まりやすくなる「エコノミー症候群」、心臓の一部が収縮しなくなり左心室がたこつぼのように見えることから名が付いた「たこつぼ心筋症」になり罹災関連死が12人に上ります。

電力は一部を除いて使用できるようになりましたが、熊本県内はガス7万戸、水道は約2万3,800世帯が断水しており、被災者が今必要なのは第一に水で後は日持ちする食料品・濡れティッシュ・大人用子供用紙オムツなどです。

両県の被災者の皆様に心からお見舞い申し上げ、早い復旧復興を祈念したいと思います。

森幹事からご紹介があると思いますが、2740地区より義捐金の依頼が来ております。

是非皆様のご協力宜しくお願いします。

又、26日に開催されます「新入会員研修会及び歓迎会」に前回同様新入会員の出席者が少ないようです、万障繰り合わせのうえ参加ください。

本日は第4回クラブ協議会です宮崎次年度幹事宜しくお願いします。又、終了後臨時総会開催いたしますご協力宜しくお願いします。

《幹事報告》

森 豊 幹事

1. 来 信

・国際ロータリー日本事務局

ソウル国際大会に関する重要なお知らせ
登録された方は、登録確認メールが届いているか
ご確認下さい。確認できなかった方は事務局までご
連絡をお願い致します。

・ガバナー事務所

- ①2016年 規定審議会（COL）報告書
※2740地区ホームページ
- ②「新入会員研修会ご参加のお願い」（再送にての
お願い）
- ③ガバナー月信5月号冊数・送付先確認について
- ④年次寄付のお願い

・佐賀南RC

事務局変更のお知らせ
事務局員 鶴澤和子→内田昌世（5/1～）

・佐世保市役所土木部管理課

平戸往還 案内板 道路占用許可書

2. 伝達事項

- ①4/28（木）18：45よりファーストイン佐世保にて第5
回次年度理事会を開催いたします。
- ②5/2（月）は特別休会となっておりますのでお間違い
のないようお願い致します。
- ③5/9（月）次回例会は従業員招待例会です。シネマ
ボックス太陽にて開催いたしますので出欠がまだの
方はよろしく申し上げます。

《委員会報告》

渡会祐二 青少年委員長

RYLAの打合のために、中井会員にご協力をいただき
て、佐世保高専に行ってみりました。送迎は委員メン
バーでまかなう予定ですが、小学校の運動会等の関
係で、ご協力をお願いすることが出てくるかもしれま
せん。その際はよろしくお願い致します。

緒方信行 親睦委員会

5月17日（火）に有田のレストラン「保名」ではなみず
き会を開催します。

小西宗十 米山友の会 会長

米山友の会員のセルフBOXに今年度の寄附報告を入れて
おります。ご覧下さい。

《ハイライトよねやま》

新奨学生オリエンテーションスタート

2016 学年度の奨学生は751 人となりました。新規採
用数は554人、継続者は197 人です（4 月11日現在）。
国・地域別では中国が40.1%、次いで韓国が15.3%、
ベトナム12.5%、台湾4.3%の順となっています。近年
ベトナム人奨学生の増加が著しく、2009 学年度以降、
台湾を抜いて3 番目に多くなっています。プログラム
別では、学部・修士・博士課程ロータリー米山記念奨
学金715 人（学部課程：251 人、修士課程：287 人、
博士課程：177 人）、地区奨励奨学金15 人、クラブ支
援奨学金6 人、海外学友会推薦奨学金4 人、海外自由
応募奨学金11 人となっています。

4月～5月中旬にかけて、各地区でオリエンテーシ
ョンが開催されます。オリエンテーションは
初めて学生とカウンセラーが会う場であり、奨学生
としての義務やロータリーについて理解してもらう場
です。確約書に署名をした後、正式に米山奨学生とな
ります。どうぞ温かくお迎えくださいますようお願い
いたします。

韓国に米山学友会を母体とした衛星クラブが誕生

韓国にこのたび、米山学友会を母体としたロータ
リー衛星クラブが誕生しました！第3650地区セソウル
RCのもとに創立された新しい衛星クラブの名は、
「韓国米山セソウル・ロータリー衛星クラブ」。31人
の創立会員全員が、韓国学友会に所属する米山学友で
す。3月26日にソウル市内のホテルで開催された創立総
会には、学友20余人のほか、李 泳鎬（イヨンホ）第
3650地区直前ガバナーや朴 虎君（パク ホクン）同地
区次期ガバナー、南 宮根（ナム クングンセ）ソウル
RC会長などが出席して、新クラブの門出を祝いまし
た。創立会長の林基元（リン キウオン）さん（1989-
91／佐野RC）は、「会員は皆、米山の学友で、ロー
タリー精神を引き継ぐ人たちです。今後さらに会員を
増やし、発展に努めたい」と、意欲を見せます。また、
韓国学友会会長を務める全 炳台（ジョン ビョン
テ）さん（1980-83／仙台北RC）は、「クラブ創立を
検討・準備する過程で学友同士が親しくなり、学友会
の関係がとても良くなった。学友会と衛星クラブ合同
の奉仕活動やシンポジウムなど、互いに協力して新し
い活動を計画していきたい」と、語りました。

タイ米山学友会が総会を開催 ― 新役員が決定 ―

3月13日、タイ米山学友会総会がバンコク市内で開催
され、学友19人のほか、ピチャイ・ラタクル元国際
ロータリー会長、日本のロータリアンら計33 人が出席
しました。2 年に1 度の役員改選では、新会長にシュ
ティカーン・テプサンさん（1993-95／新大阪RC）、
副会長にアヌチャー・ボリブーンさん（1993-95／豊橋
北RC）とワラウト・ブンロッドさん（1995-97／福

岡東南RC)、そのほか理事と幹事3人が選任されました。同学友会は2012年に創立後、海岸清掃や児童養護施設への慰問などを行っています。シュティカーン・テプサン新会長は、「日本の米山奨学金をいただいた仲間とともに、社会貢献と交流活動を引き続き実施します。会員を増やして互いのコミュニケーションを深め、皆の意見を聞きながら年間計画を作成する予定です。また、タイだけでなく他国の学友、日本やタイのロータリークラブとの交流活動も実施していきたいです」と、抱負を語ってくれました。

《RIニュース》

日本とエクアドルでの震災救援について

日本の九州地方とエクアドルで発生した震災により、多くの死傷者と甚大な被害が出ています。この緊急事態に対応するため、それぞれの地元ロータリー地区で災害救援基金が設置されています。

日本：第2720地区（熊本県と大分県）が設置した救援基金に義捐金を送金するには、前田眞実 地区ガバナーエレクトと連絡をお取りの上、送金方法をご確認ください。

エクアドル：第4400地区が設置した救援基金に義捐金を送金するには、Manuel A. Nieto Jijon 地区ガバナーと連絡をお取りの上、送金方法をご確認ください。皆さまからのご支援をお願いいたします。

オンラインショップのリニューアルに伴う ご利用への影響について

ロータリーのオンラインショップは、5月1日にリニューアルされます。この移行に伴い、サイトが一時的にご利用できなくなる可能性がございます。ご不便をおかけし申し訳ありません。

ご質問がありましたらEメール

(shop.rotary@rotary.org) でご連絡ください。

《ニコニコBOX》

緒方信行 親睦活動委員長

中野雄一郎 会長 宮原明夫 副会長 森 豊 幹事
本日の第4回クラブ協議会 宮崎次年度幹事よりしくお
願いします。
本日は、ご案内しておりました臨時総会で協力の程よ
ろしく願いします。
ガバナー事務所より熊本地震義援金のお願いがまいっ
ております。ご協力よりしく願いします。

村上寅雄君

クラブ協議会、宮崎さん頑張って。
小西さんアルカスのエッセイ拝読しましたが。
そのすばらしさ、見識の広さ、深さにびっくりしまし
た。改めて良き友人を持ったことを誇りに思います。

棧 護君

クラブ協議会で発表される次年度発表の理事の皆さ
ん、宮崎次年度幹事はじめ、お疲れ様です。頑張って
下さい。

藤井良介君

長崎での地区研修・協議会に参加の皆様大変御疲れ様
でした。連休明けには次年度が動き出すという感覚に
なりました。

宮崎有恒君

本日のクラブ協議会は、昨年開催された「地区研修・
協議会」の報告です。次年度幹事として進行をさせて
頂きます。

発表される藤井会長エレクト始め、理事の皆さんよろ
しく願いします。

緒方信行君

昨日、名古屋で乗ったタクシーの運転手さんが、西海
市の大瀬戸中学校出身でした。九州の話で盛り上が
り、ニコニコです。九州最高！ガンバレ！熊本！

小川一貴君

深町さん、MRの高架橋工事では130トンの大型クレー
ンの手配ありがとうございました。おかげさまでスムー
ズに施工でき、安全に工事を終えることができました。
感謝します。

小川 寛君

一昨日の4月23日、無事入社式を行うことが出来まし
た。顧問弁護士の渡会先生、出席有り難うございまし
た。

小西宗十君 二ノ宮 健君

本日のクラブ協議会、宮崎次期幹事ほかご報告の皆さ
ま、お疲れ様です。

近藤竜一君 松尾重巳君

昨日、地区協議会に参加された方々、お疲れ様でし
た。ロータリーのこれからの変化について色々と勉強
をしまいいりました。

次年度も頑張って行きたいと思います。皆様、御協力
を宜しくお願い致します。

最後に藤井先生、昨日はおいしい中華料理ありがとう
ございました。

**田島 慎君 村瀬高広君 平石晃一君 古賀新二君
渡会祐二君 深町 等君 峯 徳秀君 富田耕司君
豊島揆一君 中井康晴君 公門新治君 蒲池芳明君
永田武義君 湯口純二君 福田俊郎君**

本日のクラブ協議会、ご報告者の皆様よりしく願ひ
します。頑張って下さい。宜しく願いします。

本日の合計 36,000円

累計 1,411,000円

IT会報委員会 委員長 / 小川 寛

委員 / 中島閨二

松永祐司

蒲池芳明

(記事担当者 小川 寛)